

#### 24 . やさしいダトゥ (ミンダナオ)

昔、ミンダナオの地に、肌の色が濃く、元気のいい、名前をダトゥ・リグアサンという軍人王がいました。彼はイスラム王国を支配し、彼の賢く、強い指導性によって、その国は富み、繁栄しました。

その当時のイスラムの習慣により、ダトゥ・リグアサンは、大勢の美しい妻たちのハーレムを持ち、それぞれの妻には、召し使いと、生活を大変快適にするために必要な贅沢品を持った美しい家がありました。

王国の人々は良い、平和で繁栄した生活を享受していたので、ダトゥ・リグアサンに超自然の力を与えている「バイ・パリム」という恵みの女神を信じていました。彼らはその女神によって、王国ではだれも空腹にならず、すべての季節にわたって、野原も森も、間違いなく、豊富な収穫を生み出してくれると信じていたのです。

しかし、時間の経過とともに、王国の人々は、彼らの将来は確かなものである、と信じるようになりました。「どうして、私たちは農場できびしい仕事をしなければならないのか。」と考えるようになりました。「いつ、女神が豊富な収穫をもたらすというのだ？」

そして、すぐに彼らは自分たちの農業や、仕事を無視して、怠惰になりました。彼らにはたくさんの時間ができて、人々は酒を呑んだり、賭け事をしたり、他の悪習をするようになりしました。この道徳の拒否は、家庭に摩擦を起こさせ、かつては平和な隣人たちだった人々に、主張や争いをもたらすようになりしました。

無法者が土地を支配し、平和と秩序が崩壊して、王国の土台の危機が来るのに時間はかかりませんでした。

ダトゥ・リグアサンは、彼が努力して作った強く繁栄した王国が人々によって崩壊していることに、大変怒りました。彼はこの崩壊がこれ以上続くのをほっておけませんので、彼はすべての臣下を、彼の素晴らしい宮殿の中庭に集めました。

多くの人々は、怠惰になって、彼らの王宮の会議に参加しませんでした。しかし、参加した人々に、ダトゥは厳しく警告しました。「お前たちは私たちが長い間働いて築いてきた生活を崩壊させた。

お前たちは、友人や家庭や、王や王国を裏切っている。次の60日の間にお前たちの悪い行いを改めなければ、私は、お前たちを罰するほかない。」

最初、集まった人々は静かにしていました。しかし、やがて相次いで、彼らはダトゥが彼らに冗談を言っているのだらうと考えて、笑いだしました。彼はやさしい王なので、彼らを罰することはない。加えて、恵みの女神は、彼らを守ってくれる。人々は宮殿の中庭から出て行き、彼らが墮落した生活を続けていることにダトゥは失望しました。

ダトゥによって設定された60日の期限はすぐに過ぎましたが、王国の誰も、その生活を良くしようとはしませんでした。事実、彼らの度を越した不道徳はその日までに、もっと悪くなっていました。すべての農業と他の仕事はすっかり無視されていました。すべての人が食べるのに十分な食物もなくなり、収入もなくなり、それによって、彼らは他の人から盗みをしたり、お互い殺人をするようになりしました。

今や怒り狂った王は、不道徳に陥った人々に彼の罰を下すことにしました。宮殿の一番高い塔から、王は彼の腕を力強いマツツム山に差し出して、彼の地の人々に、彼らの罪のために、復讐を引き起こさせるように、願いました。

園山はすぐに、低いうなり声のようなどろきで、王に応えました。すぐに、力強い山の中に猛威が起こって、土地が震え始めました。人々は笑ったり、酒を飲んだり、賭け事をするのを止めました。彼らの家が揺れ始め、足の真下の地面が砕けたからです。

そして山の怒りは爆発しました。山の頂上が爆発し、口から黒いものを噴出し、燃える火の玉と一緒に、煙と雨が出てきて、熱く溶けた溶岩が王国中に吐き出されました。

ぞっとした人々は宮殿に走って、燃え立つような破壊が止まるように、彼らの王に頼みました。しかし、ダトゥ・リグアサンは、宮殿の門に鍵をかけ、人々が入るのを止め、彼らに語るのを拒否しました。

マツツム山は何日も何日も、熱い溶岩が王国全体を呑み込むまで、赤々と激しい怒りを出し続けました。その溶岩はすべての建物、すべての農場を破壊し、怠惰で酒を飲みすぎて、逃げられなかった人々をほとんど殺しました。

すぐに、生活の形跡はなくなり、土地は完全に平

#### フィリピンの神話と伝説

らな、灰色の冷えた溶岩で埋めつくされていました。この溶岩は大変重く、そのため、王国全体は地面の真下に沈みました。今日、この地域は、リグアサン湿地として知られています。

今日まで、人々は良いダトゥ・リグアサンはマツツム山に、バイ・パリムという女神と共に住んでいて、彼は永遠の命に変えられた、と信じています。二人は大変愛し合い、幸せに、満足しています。それは、山がもう何世紀も噴火していないからです。